

かかりつけ医機能報告制度にかかる研修 修了申請書

申請日 年 月 日

申請先医師会 _____ 医師会

1. 申請者

（1）氏 名* ふりがな* _____

（2）医籍登録番号* _____

（3）電話* _____（ _____ ）

（4）メールアドレス _____

*必須

2. 修了証送付方法

※郵送、FAX、Mail いずれかにチェックのうえ、送付先情報をご記載ください。

☐ 発送

〒 _____
送付先住所 _____

☐ FAX

FAX番号 _____

☐ Mail

メールアドレス _____

実地研修(経験) 報告書

過去も含め、該当する内容にチェックをいれて、合計をご記入ください。

あわせて各種証明書等(医師会員でない場合は、医師免許証または医師資格証の写しも)を添付してください。

実施数 _____ × 5 単位 合計 _____ 単位

I 地域に根差した医師の活動	
1. 地域の時間外・救急対応	
平日夜間・休日輪番業務	☐
地域行事の救護班	☐
在宅当番医	☐
休日夜間急患センター	☐
電話相談業務	☐
2. 行政・医師会等の公益活動	
行政等(国・都道府県・保健所・市区町村・自治会等)の委員	☐
医師会・専門医会の委員	☐
警察業務への協力	☐
防災会議への出席	☐
地域医療に関する会議への出席	☐
レセプトの審査委員会への出席	☐
地域ケア会議への出席	☐
障害者認定審査会への出席	☐
介護保険認定審査会への出席	☐
3. 地域保健・公衆衛生活動	
母子保健(産科健診)	☐
乳幼児保健(1 歳 6 か月児健診・3 歳児健診等)	☐
学校保健(学校健診、学校医活動)	☐
学校健康教育(性教育、がん教育、禁煙・薬物教育等)	☐
産業保健(地域産業保健センター活動、職場の健康相談、 産業医活動)	☐
事業主健診(特定健診・特定保健指導)	☐
高齢者保健(高齢者健診・認知症検診)	☐
予防接種(定期・その他)	☐
がん・成人病検診	☐
市民公開講座(健康講座・介護教室)	
精神保健	
健康スポーツ医活動	

4. 多職種連携	
訪問診療等の在宅医療ネットワークへの参画	☐
介護保険関連文書の作成(主治医意見書等)	☐
多職種との会合(ケアカンファレンス等)	☐
ACP の策定	☐
5. その他	
看護師・准看護師養成所に関する業務	☐
医学部等における地域医療等についての講義・講演	☐
医師会共同利用施設への参画	☐
高齢者の運転免許に関する診断書の作成	☐
成年後見制度における診断書の作成	☐
死体検案	☐
医療 DX(地域医療情報連携ネットワーク等への参画等)	☐
医療 GX(医療機関等における温室効果ガス削減等の取組等)	☐
論文執筆等の学術活動	☐
高齢者・障害者施設への対応	☐
地域における症例研究(J-DOME 等)	☐

Ⅱ その他	
医師会・大学等のシミュレーションラボ等	☐
具体的内容	

※Ⅰ 地域に根差した医師の活動に該当する項目がない場合、Ⅱ その他の医師会・大学等のシミュレーションラボ等にチェックをいれてください。具体的内容欄に詳細を記入のうえ、参加証等申請内容に関する証明書を添付してください。ただし、取得できる単位は5単位のみです。「Ⅰ 地域に根差した医師の活動」と「Ⅱ その他」の併用はできません。ⅠとⅡでそれぞれ1項目(合計2項目)選択したい場合は、Ⅱではなく、Ⅰから最も内容が近いと思われるものを選択してください。

座学研修(日医生涯教育制度)単位追加申告書

座学研修(日医生涯教育制度)の受講期間に制限(有効期限)はありません。
MAMIS 登録済の座学研修(日医生涯教育制度)の単位を使用しますので、**日医生涯教育制度の単位が不足する場合のみ申告してください。**

日医生涯教育制度の単位・カリキュラムコード取得方法のうち、以下の①～⑥の方法で単位を取得し、かかりつけ医機能報告制度にかかる研修の座学研修の単位として追加したい場合、日医生涯教育制度の単位等にも加算しますので、別紙に記入のうえ、参加証等を添付してください。

ただし、追加できる単位は申請年度に取得したものに限りです。

なお、かかりつけ医機能報告制度にかかる研修にはカリキュラムコードは用いませんが、生涯教育制度の申告として加算いたしますので、カリキュラムコード(C C)欄もご記入ください。また、この申告で追加した単位等は、二重申告になりますので、生涯教育制度の自己申告期間(毎年3～4月)に改めての申告はできません。

①各科医会・製薬会社などの外部団体、都道府県単位未満の日本医学会分科会など MAMIS を利用していない(参加証が交付されている)研修会等の参加

注1:MAMIS で管理されている講習会・研修会はすでに受講が記録されていますので、申告いただく必要はありません。

注2:大阪府内の研修を受講した場合もこれに該当しますが、大阪府医師会は独自システムを用いているため、本書類には記入せず、大阪府医師会にご相談ください。

②日本医学会総会および都道府県単位以上で開催される日本医学会分科会主催の学会・学術集会の参加

③体験学習(共同診療、病理解剖見学、手術見学等の病診・診診連携の中での学習等)

④医師国家試験問題作成

⑤臨床実習、臨床研修・専門研修制度における指導

⑥医学学術論文・医学著書の執筆

生涯教育制度単位等記入表

※以下の単位欄とカリキュラムコード（CC）欄の両方にご記入ください。

単位

講習会・学会等	医師国試問題作成	研修等指導	体験学習	論文等執筆
単位	単位	単位	単位	単位
(単位上限なし)	(5単位まで)	(5単位まで)	(単位上限なし)	(5単位まで)

合計学習単位数 単位
(単位数の合計を記入)

カリキュラムコード（CC）

取得したカリキュラムコード番号欄に○を1つ記入

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	0						

取得カリキュラムコード数
(○の数を記入)

カリキュラムコード

(略称：CC)

1	医師のプロフェッショナリズム	28	発熱	57	外傷
2	医療倫理：臨床倫理	29	認知能の障害	58	褥瘡
3	医療倫理： 研究倫理と生命倫理	30	頭痛	59	背部痛
4	医師－患者関係と コミュニケーション	31	めまい	60	腰痛
5	心理社会的アプローチ	32	意識障害	61	関節痛
6	医療制度と法律	33	失神	62	歩行障害
7	医療の質と安全	34	言語障害	63	四肢のしびれ
8	感染対策	35	けいれん発作	64	血尿（肉眼的、顕微鏡的）
9	医療情報	36	視力障害、視野狭窄	65	排尿障害（尿失禁・排尿困難）
10	チーム医療	37	目の充血	66	乏尿・尿閉
11	予防と保健	38	聴覚障害	67	多尿
12	地域医療	39	鼻漏・鼻閉	68	精神科領域の救急
13	医療と介護および福祉の連携	40	鼻出血	69	不安
14	災害医療	41	嘔声	70	気分の障害（うつ）
15	臨床問題解決のプロセス	42	胸痛	71	流・早産および満期産
16	ショック	43	動悸	72	成長・発達の障害
17	急性中毒	44	心肺停止	73	慢性疾患・複合疾患の管理
18	全身倦怠感	45	呼吸困難	74	高血圧症
19	身体機能の低下	46	咳・痰	75	脂質異常症
20	不眠（睡眠障害）	47	誤嚥	76	糖尿病
21	食欲不振	48	誤飲	77	骨粗鬆症
22	体重減少・るい痩	49	嚥下困難	78	脳血管障害後遺症
23	体重増加・肥満	50	吐血・下血	79	気管支喘息・COPD
24	浮腫	51	嘔気・嘔吐	80	在宅医療
25	リンパ節腫脹	52	胸やけ	81	終末期のケア
26	発疹	53	腹痛	82	生活習慣
27	黄疸	54	便通異常（下痢、便秘）	83	相補・代替医療 （漢方医療を含む）
		55	肛門・会陰部痛	0	最新のトピックス・その他
		56	熱傷		

日医雑誌問題解答、日医 e-ラーニング、医師会会員情報システム（MAMIS）※を利用している講習会等で取得した単位・CC は、日本医師会で既に管理しておりますので、申告の必要はありません。なお、日医生涯教育制度の概要は、日本医師会生涯教育 on-line をご覧下さい。

生涯教育ポータルサイト

日本医師会生涯教育 on-line

<https://www.med.or.jp/cme>



※全国医師会研修管理システムからの移行分を含む

日医生涯教育制度

受講・学習記録

氏名

講習会・講演会・ワークショップ・学会等

参加証等貼付欄

参加証等貼付欄

参加証等貼付欄

参加証等貼付欄

講習会・講演会・ワークショップ・学会等（つづき）

参加証等貼付欄

参加証等貼付欄

「医師国試問題作成」・「臨床実習、医師臨床研修・専門研修制度における指導」・「体験学習」

証明書貼付欄

*折りたんで貼付して下さい

*単位取得証明書の様式は下記ページに掲載しています。
<https://www.med.or.jp/cme/about/youshiki.html>

医学学術論文・医学著書の執筆

※当該年度に掲載または刊行（予定を含む）されたものについて申告できます。共同執筆も含みます。
※カリキュラムコード（CC）は1回（1件）につき、2つまで自己申告で取得できます。

掲載誌または出版社	論文名または著書名	カリキュラムコード
1		
2		
3		
4		
5		

日医雑誌問題解答、日医 e-ラーニング、医師会会員情報システム（MAMIS）※を利用している講習会等で取得した単位・CC は、日本医師会と既に管理しておりますので、申告の必要はありません。なお、日医生涯教育制度の概要は、日本医師会生涯教育 on-line をご覧下さい。

生涯教育ポータルサイト

日本医師会生涯教育 on-line



<https://www.med.or.jp/cme/>

※全国医師会研修管理システムからの移行分を含む

日本医学会分科会

(143学会)

日本アフェレシス学会	日本国際保健医療学会	日本糖尿病学会
日本アレルギー学会	日本骨粗鬆症学会	日本動脈硬化学会
日本医学教育学会	日本骨代謝学会	日本東洋医学会
日本医学放射線学会	日本災害医学会	日本内科学会
日本胃癌学会	日本細菌学会	日本内視鏡外科学会
日本医史学会	日本再生医療学会	日本内分泌学会
日本移植学会	日本産科婦人科学会	日本内分泌外科学会
日本医真菌学会	日本産業衛生学会	日本乳癌学会
日本医療機器学会	日本磁気共鳴医学会	日本認知症学会
日本医療情報学会	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会	日本熱傷学会
日本医療・病院管理学会	日本周産期・新生児医学会	日本熱帯医学会
日本インターベンショナルラジオロジー学会	日本集中治療医学会	日本脳神経外科学会
日本ウイルス学会	日本循環器学会	日本脳神経血管内治療学会
日本衛生学会	日本消化器外科学会	日本脳卒中学会
日本衛生動物学会	日本消化器内視鏡学会	日本農村医学会
日本栄養・食糧学会	日本消化器病学会	日本肺癌学会
日本栄養治療学会	日本小児科学会	日本ハンセン病学会
日本疫学会	日本小児外科学会	日本泌尿器科学会
日本温泉気候物理医学会	日本小児血液・がん学会	日本皮膚科学会
日本解剖学会	日本小児循環器学会	日本肥満学会
日本化学療法学会	日本小児神経学会	日本病態栄養学会
日本核医学会	日本職業・災害医学会	日本病理学会
日本眼科学会	日本食道学会	日本婦人科腫瘍学会
日本癌学会	日本女性医学学会	日本プライマリ・ケア連合学会
日本感染症学会	日本自律神経学会	日本平滑筋学会
日本肝臓学会	日本神経学会	日本ペインクリニック学会
日本肝胆膵外科学会	日本神経病理学会	日本法医学会
日本癌治療学会	日本人工臓器学会	日本放射線腫瘍学会
日本緩和医療学会	日本心身医学会	日本保険医学会
日本気管食道科学会	日本腎臓学会	日本麻酔科学会
日本寄生虫学会	日本心臓血管外科学会	日本脈管学会
日本救急医学会	日本人類遺伝学会	日本免疫学会
日本矯正医学会	日本睡眠学会	日本薬理学会
日本胸部外科学会	日本生化学会	日本輸血・細胞治療学会
日本形成外科学会	日本整形外科学会	日本リウマチ学会
日本外科学会	日本生殖医学会	日本リハビリテーション医学会
日本血液学会	日本精神神経学会	日本臨床検査医学会
日本結核・非結核性抗酸菌症学会	日本生体医工学会	日本臨床細胞学会
日本血管外科学会	日本生理学会	日本臨床腫瘍学会
日本血栓止血学会	日本脊椎脊髄病学会	日本臨床神経生理学会
日本健康学会	日本先天異常学会	日本臨床スポーツ医学会
日本口腔科学会	日本造血・免疫細胞療法学会	日本臨床免疫学会
日本高血圧学会	日本大腸肛門病学会	日本臨床薬理学会
日本公衆衛生学会	日本体力医学会	日本リンパ腫学会
日本交通医学会	日本超音波医学会	日本レーザー医学会
日本呼吸器学会	日本手外科学会	日本老年医学会
日本呼吸器外科学会	日本てんかん学会	日本老年精神医学会
日本呼吸器内視鏡学会	日本透析医学会	

(五十音順) 2025年1月現在

注：最新のものはホームページをご確認ください。